

第3回 日本漢字能力検定 試験問題

氏名

〔不許複製〕

3級

(G)

解答には、「常用漢字表」に示された漢字の字体、読みを使用すること。旧字体での解答は認めない。

(一) 次の一線の漢字の読みをひらがなで記せ。(30) 1×30

- 1 廊下の壁に水彩画が飾られている。
2 長きにわたる論争に終止符を打つ。
3 文章に脱漏がないか何度も確かめる。
4 対応を誤って信用が失墜した。
5 老婆心ながら一言申し添える。
6 高速道路が県を縦貫する。
7 郷里で畜産に従事している。
8 華美なよそおいが目を引き。
9 長大な小説をようやく読了した。
10 従前にも増して緊密な関係を築く。
11 愚直なまでに規則を守る。
12 今の理事長が会を隆盛に導いた。
13 不吉な予感が胸をよぎる。
14 運転免許を取得した。
15 大病をして以来、摂生に努めている。
16 予約した書籍を店頭で受け取った。
17 私生活では孤独を愛した人だった。
18 資源の浪費を戒める。
19 応援しているチームが惜敗した。
20 祖父が語る怪談に聞き入る。
21 受賞を機に創作活動に軸足を移した。
22 いかなる脅しにも屈しなかった。
23 日照りで川が干上がった。
24 予期せぬ反撃に遭った。
25 彼の主張は説得力に乏しい。
26 魂の抜けたような顔をしていた。
27 名声と実力が相伴っている。
28 ひどい肩凝りに悩まされる。
29 既に和解が成立している。
30 読書で気を紛らそうとした。

(二) 次の一線のカタカナにあてはまる漢字をそれぞれのア〜オから一つ選び、記号にマークせよ。(30) 2×15

- 1 本の装丁に意シヨウをこらす。
2 オリンピックをシヨウ致する。
3 社会の風潮に警シヨウを鳴らす。(ア焦 イ鐘 ウ昇 エ匠 オ招)
4 安眠をボウ害される。
5 毎日仕事にボウ殺されていた。
6 ボウ国のスパイの関与が疑われる。(ア某 イ房 ウ忙 エ膨 オ妨)
7 キ引きで会社を休んだ。
8 保守と革新のキ討ちになった。
9 光キある伝統を受け継ぐ。(ア忌 イ幾 ウ輝 エ騎 オ棄)
10 当ガイ部署に問い合わせた。
11 子供の晴れ姿に感ガイをもよおす。
12 従来のガイ念を打ち破る。(ア街 イ概 ウ慨 エ該 オ外)
13 木々が芽をフクころになった。
14 実名をフせて報道する。
15 法にフルれる恐れがある。(ア吹 イ触 ウ振 エ噴 オ伏)

(三) 1〜5の三つの□に共通する漢字を入れて熟語を作れ。漢字はア〜コから一つ選び、記号にマークせよ。(10) 2×5

- 1 □惑 ・ 勧 □ ・ □導
2 □越 ・ 食 □ ・ □見
3 巖 □ ・ □鎖 ・ □建
4 □慢 ・ □急 ・ □和
5 □問 ・ 回 □ ・ □慮
ア超 イ封 ウ我 エ罰 オ緩
カ願 キ誘 ク魅 ケ卓 コ慰

(四) 熟語の構成のしかたには次のようなものがある。(20) 2×10

- ア 同じような意味の漢字を重ねたもの (岩石)
イ 反対または対応の意味を表す字を重ねたもの (高低)
ウ 上の字が下の字を修飾しているもの (洋画)
エ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの (着席)
オ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの (非常)

次の熟語は右のア〜オのどれにあたるか、一つ選び、記号にマークせよ。

- 1 駐車 6 功罪
2 不沈 7 強奪
3 債務 8 鎮痛
4 粗密 9 夢幻
5 開拓 10 敢行

(五) 次の漢字の部首をア〜エから一つ選び、記号にマークせよ。(10) 1×10

- 1 尿 (ア丨イ尸ウ厂エ水)
2 郊 (ア一イハウ卜エ父)
3 赴 (ア走イ、ウトエ土)
4 成 (ア厂イ弋ウノエ戈)
5 翌 (アンイ羽ウ立エ一)
6 賊 (ア貝イ戈ウ十エ弋)
7 舞 (ア十イニウ舛エ夕)
8 斗 (ア丨イ、ウ十エ斗)
9 塊 (ア土イルウムエ鬼)
10 哲 (ア丨イノウ斤エ口)

3級

(G)

この面の設問(六)～(十)はマークシート方式ではありません。答えは別紙(答案用紙)に書くこと。

(六) 後の□内のひらがなを漢字に直して□に入れ、対義語・類義語を作れ。□内のひらがなは一度だけ使い、答案用紙に一字記入せよ。

(20)

2×10

対義語

- 1 栄達 | 零
- 2 陳腐 | 新
- 3 辞退 | 承
- 4 添加 | 除
- 5 怠慢 | 勉
- 6 安価 | 価
- 7 魂胆 | 意
- 8 克明 | 念
- 9 官吏 | 人
- 10 憂慮 | 心

類義語

きん・さく・せん・だく
 たん・と・ぱい・やく
 らく・れん

(七) 次の一線のカタカナを漢字一字と送りがな(ひらがな)に直せ。

(10)

2×5

〈例〉問題にコタエル。

答える

- 1 早急に欠員をオギナウ必要がある。
- 2 地下にモグッて活動していた。
- 3 災害にソナエて飲料水を蓄える。
- 4 あやまちを心からクイル。
- 5 なんともナゲカワシイことになった。

(八) 文中の四字熟語の一線のカタカナを漢字に直せ。答案用紙に二字記入せよ。

(20)

2×10

- 1 わだかまりがウンサン霧消した。
- 2 ヘイオン無事な日々を送る。
- 3 ジンセキ未踏の地に進み入る。
- 4 夢破れてジボウ自棄になっていた。
- 5 キンジョウ鉄壁の守りを誇る。
- 6 権謀ジュッスウの限りを尽くす。
- 7 千変バンカする状況を的確にとらえる。
- 8 早くから立身シュッセの志があった。
- 9 集めた資料を取捨センタクする。
- 10 得意マンメンで賞状を見せる。

(九) 次の各文にまちがって使われている同じ読み漢字が一字ある。上に誤字を、下に正しい漢字を記せ。

(10)

2×5

- 1 刑事事件の被告人が保釈中に逃亡する事件が相次ぎ防止作の検討を急ぐ。
- 2 架空の契約を突きつけてその支払いを請給する犯罪が依然横行している。
- 3 腐食の進んだ水道管が破裂して道路が冠水し、周辺の住宅が伸水した。
- 4 人工衛星同士の衝突を回被するため、地上からの操作で軌道修正を行った。
- 5 トキに寄生する特殊なダニが宿主と共に絶滅していた事実が範明した。

(十) 次の一線のカタカナを漢字に直せ。

(40)

2×20

- 1 梨をシュウカクする季節になった。
- 2 入会はズイジ受け付けている。
- 3 主人公はごくフツウの学生だった。
- 4 植物のサイボウ分裂を観察する。
- 5 友人の考えに大いにケイハツされた。
- 6 医薬品を扱うキギョウに就職した。
- 7 使い残した食材をレイトウする。
- 8 村の祭りがソングクの危機にある。
- 9 幼いころはキョジャクな体質だった。
- 10 取材のため現地にタイザイする。
- 11 コマクの破れそうな爆音がした。
- 12 無人の小舟が浜にヒョウチャクした。
- 13 自分のホハバを測ってみる。
- 14 客間に手織りのじゅうたんをシク。
- 15 オソい昼食を済ませた。
- 16 二十余年をヘダてて両親と再会した。
- 17 なかなかキモのすわった少年だった。
- 18 気が緩んで姿勢がクズれてきた。
- 19 国内でもユビオリの資産家だ。
- 20 タクみな弁舌で人々をひきつける。

氏名

Blank box for name entry.